

学校だより

平成23年3月15日
第12（最終）号
（文責：今井敏雄）

— 歴史と伝統のある大田小学校をみごとに閉じ 世羅小学校へつながる土台をつくります —

ありがとう そして さようなら大田小学校

「統合」「閉校」と、ずっと言い続けてきた1年でしたが、いよいよ本当に大田小学校の最後を迎えることとなりました。2月27日（日）には、閉校式及び閉校関連行事を行いました。たくさんのご来賓や大田小学校にゆかりのある方々、保護者・地域の皆様においでいただきました。ありがとうございました。



児童代表あいさつ

閉校式後には閉校記念碑の除幕式、またその後は閉校記念行事を開催しました。記念行事では、校章や校歌、「空」の由来について元校長先生からお話しを聞き、児童も「空」の詩の朗読や、最後の合唱、児童代表のあいさつをみごとにしました。

校歌の作曲者である大田大作先生も、久しぶりに聞かれる「校歌」にあわせて小さく手で指揮をされておられたのがとても印象的でした。最後に大田先生を中心に、参加者全員で写真を撮りました。

ありがとう、そしてさようなら 大田小学校。

いよいよ16日には、最後の卒業式になります。子どもたちは毎日卒業式の練習をしています。私は毎年そうなのですが、「あおげば尊し」の歌声を聴くとなぜか胸にこみ上げてくるものがあります。大田小学校最後の卒業式になります。最後の卒業生としてがんばった6年生。また、大田小学校最後の年をみごとにやりきろうとした全ての子どもたち。そんな子どもたちへ、「ありがとう」「よくがんばったね」という気持ちをこめて、すばらしい式にしたいと思います。

東北地方では、地震と津波で甚大な被害が出ました。テレビを見ていると、居ても立ってもおれないような気持ちと、何もできなくて申し訳ないような気持ちでいっぱいになります。映像の中に、学校が避難場所となって映っているのを見ました。そこには「祝卒業」という花文字が黒板に飾ってありました。『津波の起こった日がこの学校の卒業

閉校式は、厳粛な雰囲気の中で挙行されました。長い式でしたが、児童はきちんとした姿勢をがんばっていましたし、児童代表のあいさつも立派でした。校旗返納では、いよいよ学校を閉じるんだなあという感慨が、胸に迫ってきました。



校旗返納

式の日だったのだろうか、それとも翌日が卒業式だったのだろうか・・・？被害にあった子どもたちは、卒業式ができるのだろうか・・・？それより、祝ってもらえるはずの家族の人や、子どもたち本人は無事なのだろうか・・・？』,そんなことを思っていました。

被害にあわれた方に心からお見舞いを申し上げますとともに、今は何もできない私ですが、まずはこうして卒業式ができることに感謝しつつ、最後の締めくくりをきちんとしたいと思っています。

保護者の皆様にもこの一年間大変お世話になりました。家庭でのご協力があるからこそ、いろいろな学校での活動や児童への指導ができました。ありがとうございました。

楽しかった6年生を送る会

毎年恒例の、6年生を送る会が3月2日(水)に行われました。この企画と進行は、5年生が担当です。「お世話になった6年生に喜んでもらいたい」という気持ちで、5年生は一生懸命に準備と練習をしていました。ゲームのアイデアを出し、その準備をし、発表の仕方などを繰り返し練習するなど、思い出に残る会にしたいという5年生の気持ちがすごく伝わってくる会でした。開会行事では、リコーダーの演奏で6年生を迎えました。その後はいつもの縦割り班で工夫を凝らしたゲームを楽しみました。

きっと、楽しく思い出に残る会となったことでしょう。ありがとう、5年生。



ゲーム紹介をする5年生



縦割り班で、ゲームを楽しみました